

令和3年5月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年5月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸せんべい汁研究所がユーチューブチャンネル「八戸せんべい汁研究所 YouTube official」を開設し、せんべい汁をはじめ、八戸圏域の食や観光を楽しく紹介しています。

動画は10本程度アップされており、同研究所メンバーの八戸学院大の学生らが種差海岸キャンプ場でのせんべい汁作りや中心街のまちあるきに挑戦するなど、バラエティーに富んだ内容となっております。

今後は月1、2本程度動画をアップし、情報を発信していく予定とのことですので、ぜひご覧ください。

◆八戸せんべい汁研究所 YouTube official

<https://www.youtube.com/channel/UCFCX0iddWOPRwRx7qebhBYQ>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 5月号 レポート

令和3年4月の八戸市内での出来事や
八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸市 おためしサテライトオフィス誘致事業を新たに展開
(2)	新型コロナ経済対策に10億円
(3)	八戸市営魚菜小売市場改修工事 5月末着工
(4)	新型コロナワクチンの高齢者への個別接種 5月下旬から
(5)	「ドクターカーV3」共同開発 八工大と八戸市民病院に文科大臣表彰

【産業】

記事	概要
(6)	VISITはちのヘインバウンド戦略展開 英仏メディアで八戸圏域の紹介増加
(7)	「惣菜・べんとうグランプリ」吉田屋7年連続金賞受賞
(8)	「船凍」で鮮度アピール 北西太平洋キンメダイ販売
(9)	サンダイヤ 八戸市に事務所開設
(10)	味の海翁堂などが開発 スッポン風味の南部せんべい
(11)	八戸ワイナリー 県産ブドウのロゼ・白ワイン新発売
(12)	第三魚市場荷さばき施設A棟水揚げ サバ缶新発売

【地域】

記事	概要
(13)	ユニークな飲食店「まちの茶屋 しゃべるばあ〜」オープン
(14)	釣り客救助想定 八戸漁港で海難防止訓練
(15)	住宅診断士の資格取得 県内3人目
(16)	八戸工高快拳 国家検定2種目クラス全員合格

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	2023年冬季国体 開催地を青森県に正式決定
(18)	総合型スポーツクラブ「デポルターレ八戸」が発足
(19)	小学~高校生対象のゴルフクラブ「八戸ジュニアクラブ」が発足

【行政】

記事	概要
(1)	<p>八戸市 おためしサテライトオフィス誘致事業を新たに展開</p> <p>八戸市は令和3年度、企業誘致に向けた取り組みを拡充する。全国的にテレワークの導入が進む中、都市部から地方展開を検討している青森県外の企業向けに、市内での仕事や生活などの体験の機会を提供する「おためしサテライトオフィス誘致事業」を新たに展開。参加企業の関係者に6泊程度の短期滞在をしてもらい、事業所開設の促進や企業側が求めるニーズの把握につなげる。従来の企業誘致施策は、セミナーや産業立地フェアを通じた情報発信が中心だったが、同事業は立地先の検討に入った段階の企業にアピールするのが特徴で、IT系やソフトウェア開発、設計業務などの業種を主なターゲットに据えている。</p>
(2)	<p>新型コロナ経済対策に10億円</p> <p>八戸市は4月19日、新型コロナウイルスの影響で地域経済が疲弊する中、事業者支援や市民の消費喚起を目的とした総額約10億円の新たな経済対策を公表した。主な内容としては、売り上げが30%以上減少した事業者を対象に一律20万円を支給するほか、市内の小売店や飲食店などで使用できるプレミアム率30%（南郷地区は40%）の商品券を発行。また、外出自粛などで利用者が減っているタクシー業界への支援策として、プレミアム率20%（高齢者は40%）のタクシーチケットの発行支援を実施する。このほか、市内の飲食情報などを掲載する情報季刊誌「はちのへ中心蔵well」の発行経費を補助する。経済浮上の兆しが見えないことから、矢継ぎ早に対策を打ち出すことで地域経済を下支えする。</p>
(3)	<p>八戸市宮魚菜小売市場改修工事 5月末着工</p> <p>八戸市は4月19日、JR陸奥湊駅前の市営魚菜小売市場の改修について、5月末ごろに着工する方針を明らかにした。2階部分を減築して平屋にするため、延べ床面積は現行より縮小されコンパクトな店構えになる予定。観光客に人気のある食堂を中心に配置し、店子（たなこ）が入る売り場は食堂を囲むようにコの字型にする。食堂を除く総店舗数は25区画を予定しており、陸奥湊地区の歴史などを紹介する展示スペースなども設ける。現在入居している店子は改修期間中、同市場に隣接する民間市場と旧青い森信用金庫むつ湊支店で営業を継続する。総事業費は約4億7千万円を見込んでおり、本年度中に工事を終え、来年度内のリニューアルオープンを目指す。</p>
(4)	<p>新型コロナワクチンの高齢者への個別接種 5月下旬から</p> <p>八戸市は4月27日、65歳以上の高齢者を対象にした新型コロナウイルスワクチンの接種開始日について、かかりつけ医などで受ける個別接種は5月24日の週から、市総合保健センターとYSアリーナ八戸で実施する集団接種は6月21日に開始することを明らかにした。市内では4月21日から、高齢者施設の入所者や職員への優先接種が始まっている。一般の高齢者の予約は、個別接種は5月17日から市内98カ所の医療機関で受け付け、集団接種は6月10日から専用のコールセンターで受け付ける。</p>
(5)	<p>「ドクターカーV3」共同開発 八工大と八戸市民病院に文科大臣表彰</p> <p>八戸工業大と八戸市立市民病院が共同で開発した移動型緊急手術室「ドクターカーV3」の取り組みが、文部科学大臣表彰の科学技術賞（開発部門）を受賞した。ドクターカーV3は人工心肺補助装置などの医療機器を搭載し、病院から遠く離れた出勤先において、心肺停止状態となった患者の蘇生処置など高度な治療を可能にした。平成28年の運用開始以降、本年3月現在で19件の出勤実績があり、そのうち2人が社会復帰を果たしている。医師不足やへき地医療など地域医療が抱える多くの課題の克服と、救命率向上につながったことが高く評価された。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>VISITはちのヘインバウンド戦略展開 英仏メディアで八戸圏域の紹介増加</p> <p>八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）「VISITはちのへ」は、ターゲットを英仏に絞りインバウンド戦略を展開しており、英仏メディアに八戸圏域の地域資源や歴史が取り上げられる機会が増えている。令和2年の「八戸えんぶり」では、英仏の旅行専門誌や地方紙などの関係者を招き、民族芸能のプロモーション活動を展開。結果として、世界的に有名な雑誌「ナショナルジオグラフィック英国版」にみちのく潮風トレイルが掲載されたほか、歴史に焦点を当てたフランスの雑誌「ル・フィガロ・ヒストリエ」には南部藩の歴史や八戸えんぶりなどを取り上げた特集が掲載されるなど、令和2年6月から令和3年1月の期間に雑誌などの媒体で紹介された記事数は122本に上る。新型コロナウイルスの感染収束後を見据え、海外誘客や観光産業の再起につながる効果が期待される。</p>
(7)	<p>「惣菜・べんとうグランプリ」 吉田屋7年連続金賞受賞</p> <p>八戸市の弁当製造・販売の吉田屋は、日本食糧新聞社（東京）主催の日本最大級の食品コンテスト「ファベックス惣菜・べんとうグランプリ2021」の駅弁・空弁部門で、7年連続最高賞の金賞を受賞した。金賞に輝いた「特別純米酒 田酒粕漬け こぼれいくらとハラス焼き弁当」は、長年にわたり東京駅などで人気を集める主力商品を、全国的に高い知名度を誇る西田酒造店（青森市）の協力を得て改良し、昨年9月に販売を開始。田酒の酒かすにサーモンハラスを漬け込み、焼く直前にも酒かすを塗り込むことで風味をアップさせた。同社の商品ではこのほか、東京の人気料亭「分とく山」とコラボした「分とく山 特製海鮮幕の内」も優秀賞を受賞した。ハラス焼き弁当は1,350円、海鮮幕の内は1,400円（いずれも税込み）で、八戸駅や東京駅などで購入可能。</p>
(8)	<p>「船凍」で鮮度アピール 北西太平洋キンメダイ販売</p> <p>4月12日、八戸市第3魚市場で北西太平洋・天皇海山海域の公海で漁獲された高級魚キンメダイ約183トンが販売された。キンメダイは大型底引き網船「第51開洋丸」（605トン）が水揚げし、今回から、漁獲直後に船内で急速冷凍する「船凍」と銘打ち鮮度の良さをアピール。大型サイズは土産物や贈答品などに回り、小型サイズは干物として量販店などに並ぶ。同海域では北太平洋漁業委員会（NPFC）による漁獲制限が年々厳格化され、現在は八戸港所属の大型船2隻のみが操業。関係者は、八戸だけの水揚げという側面を生かしブランド化が進めばと期待を寄せている。</p>
(9)	<p>サンダイヤ 八戸市に事務所開設</p> <p>住宅設備機器や環境保全機器の販売・開発などを手掛ける「サンダイヤ」（東京）は4月12日、八戸市湊町に八戸事務所を開設したことを明らかにし、青森県、八戸市と立地に関する基本協定を締結した。同社は1982年設立。オイルタンクなどの自社製品の生産拠点であるグループ会社「青森宝栄工業」（六ヶ所村）が近くにあり、生産面や技術力向上に相乗効果があることなどから八戸への進出を決めた。また、災害時の停電に備えた非常用発電機の需要拡大を踏まえ、サンダイヤが製造する防音ボックスなど周辺機器の設計技術向上に力を入れるという。八戸事務所は4月1日から事業を開始しており、従業員数は現在3人で、年内には5人まで拡充する予定。</p>
(10)	<p>味の海翁堂などが開発 スッポン風味の南部せんべい</p> <p>八戸市の食品製造・卸売業「味の海翁堂」は、温泉を活用してスッポン養殖を手掛ける東北町の東北すっぽんファームや八戸工業大と連携し、「すっぽん鍋風南部せんべい」を開発した。しょうゆ味をベースとし、スッポンのうま味とだしを効かせた上品な味で、そのまま食べられるほか、せんべい汁のように鍋料理や、天ぷら、ピザなどにも活用できる。1袋2枚入りで324円（税込み）。味の海翁堂のオンラインストアで取り扱い、市内の小売店や大手インターネットショップなどでも購入できる。</p>

(11)	<p>八戸ワイナリー 県産ブドウのロゼ・白ワイン新発売</p> <p>八戸ワイナリーは、八戸市南郷産ブドウを使用した「八戸ワイン」に当たるロゼワイン「キャンベルアーリーロゼ2020」と、青森県産ブドウによる白ワイン「アオモリスチューベン白仕込み2020」を発売した。今回の新作ロゼは、フレッシュ感のあるストロベリーを思わせるような風味が特徴で、ブドウの果実味を残すようにろ過し、酸味の際立つ辛口に仕上がった。また、白ワインは、洋梨や桃のようなフルーティーな香りを持ち、落ち着いた酸味が味わえる。いずれも1本750ミリリットル入りで、ロゼは1,980円（税込み）、白は1,760円（税込み）。同市の直営ショップ「ヴァンタス」のほか、ユートリーや各酒販店などで販売している。</p>
(12)	<p>第三魚市場荷さばき施設A棟水揚げ サバ缶新発売</p> <p>八戸市の水産加工会社「ヤマヨ」は、衛生管理基準EU-HACCP（ハサップ）に対応した、市第三魚市場荷さばき施設A棟で水揚げされたサバの缶詰を商品化し、販売を始めた。「鯖水煮」と「鯖みそ煮」の2品で、1万個ずつ製造。ラベルはシンガポール出身で東京在住の有名アーティスト、アデリン・ヨー・松崎さんがデザインした。主にシンガポールを中心としたASEAN諸国への輸出がメインとなるが、水煮は市内の三春屋と八戸パークホテルでも数量限定販売するほか、首都圏にも流通させる。内容量はいずれも200グラムで、オープン価格。</p>

【地域】

記事	概要
(13)	<p>ユニークな飲食店「まちの茶屋 しゃべるばあ〜」オープン</p> <p>八戸市八幡に、ユニークな営業形態の飲食店「まちの茶屋 しゃべるばあ〜」がオープンした。経営するのは、42年ぶりに首都圏からUターンした八重倉幸子さん。八幡地区出身で高校を卒業後に上京・就職し、2019年4月に定年退職した八重倉さんは、仕事で培った調理と接客の腕を生かし飲食店で地元を元気にしようと、出身地で第二の人生を歩むことを決意した。朝食は日替わりのカレー、ランチは週替わりの定食、ティータイムはお茶を味わう喫茶店になり、夕方には持ち帰り用の総菜を販売する。店のコンセプトは、来店客が会話を楽しむ「井戸端会議」。今は感染防止が第一で八重倉さんも「黙食」を推奨するが、みんなでおしゃべりできる日が早く来てほしいとの願いを強くする。</p>
(14)	<p>釣り客救助想定 八戸漁港で海難防止訓練</p> <p>八戸遊漁船瀬渡船海難防止協議会は4月15日、八戸漁港鮫地区で、海難防止訓練を行った。訓練には同協議会の会員や関係する漁協の組合員らが参加し、防波堤に取り残された釣り客の救助、船舶火災の消火、海に転落した釣り客の救助を想定して行われ、緊急時に対応できるよう手順を確認した。八戸海上保安部と八戸東消防署鮫分署の7人が指導員を務め、訓練後、八戸海保の警備救難課長が真剣に取り組んだ参加者の姿勢を評価し、「意識や心構えが変わる有意義な訓練だった」と講評した。</p>
(15)	<p>住宅診断士の資格取得 県内3人目</p> <p>八戸市の不動産仲介業「八戸住宅倶楽部フタガミ」の大久保健二代表は、青森県内3人目のホームインスペクター（住宅診断士）の資格を取得した。ホームインスペクターは、日本ホームインスペクターズ協会が認定する民間資格で、中古住宅の劣化状況や改修すべき箇所などを専門家の見地から診断するもの。県内ではあまり知られていないが、中古物件の流通量が多い首都圏で近年、認知度が高まっている。大久保代表は、自身の1級建築士や宅地建物取引士の経験を生かして、不動産の売買から建築まで手厚くサポートしたいとの思いから起業し、中古物件の売買に力を入れるためホームインスペクターを取得。少子高齢化で空き家や中古物件の増加が見込まれる中、手放したい人と購入・活用を考えている人をうまくマッチングできれば、と展望を描く。</p>

(16)	<p>八戸工高快挙 国家検定2種目クラス全員合格</p> <p>八戸工業高校材料技術科の3年生34人が、3級技能検定の「金属熱処理（一般熱処理作業）」「機械検査（機械検査作業）」の2種目でクラス全員合格を成し遂げた。同検定は各都道府県職業能力開発協会が実施する国家検定で、合格すると各種目の3級技能士を名乗ることができる。生徒たちは授業時間以外でも互いに分からない部分や実技のこつを教え合うなどして、クラス全体で助け合いながら合格に向けて勉強を重ねてきた。同校初の快挙で、全国でも例を見ない好成绩を収めた生徒たちは「自信につながった」と喜びをかみ締めた。</p>
------	--

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p>2023年冬季国体 開催地を青森県に正式決定</p> <p>日本スポーツ協会は、2023年の国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会の開催地を青森県に決め、開催決定書を県に交付した。青森開催は2020年の第75回大会以来、3年ぶり14度目。大会は1月下旬から2月上旬に行われる予定で、会場は八戸市のYSアリーナ、テクルアイスパーク、フラット八戸と南部町ふくちアイスアリーナの4会場を想定している。新型コロナウイルスの影響で鹿児島県が開催地だった昨年の本大会が2023年に延期されたため、同年の国体は大会回数を数えない特別大会となる。</p>
(18)	<p>総合型スポーツクラブ「デポルターレ八戸」が発足</p> <p>八戸市内では4番目となる総合型地域スポーツ・文化クラブ「デポルターレ八戸」が発足した。総合型地域スポーツクラブは、子どもから高齢者まで、スポーツを愛好する人々が、それぞれの志向、レベルに合わせて参加できるのが特徴で、地域住民が運営する。運営法人「スポーツアズライフ八戸」の金濱亨代表は、「誰でも気軽に生涯スポーツを楽しめる場」としてクラブを立ち上げた。募集するのはスピードスケート、フットサル、バスケットボール、ハンドボール、重量挙げなどの8競技で、YSアリーナ八戸を拠点に毎週土日の活動を予定。このほか、ヨガなどのワークショップやイベントの開催なども検討している。年会費は5千円で、青森県内の教員らが指導に当たる。</p>
(19)	<p>小学～高校生対象のゴルフクラブ「八戸ジュニアクラブ」が発足</p> <p>小学生から高校生までを対象とするゴルフクラブ「八戸ジュニアクラブ」が発足した。北奥羽地方でジュニア世代を中心としたゴルフクラブが組織されるのは初めてで、3月末まで八戸工大一高ゴルフ部監督を務めるなど県内のジュニア選手の育成に努めてきた吉田健悦さんが立ち上げた。吉田さんは、県内の選手は近年、国体の団体戦で結果を残せず、県出身のプロゴルファーも少ない現状に危機感を抱き、「幼い頃からショットの感覚などを覚えさせることが大切」とクラブの設立を決意。当面は2026年に青森県で開催される国民スポーツ大会に向けた選手育成を目指す。</p>

ふるさと寄附金のご案内

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除が受けられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。
- ◆ 寄附をいただいた個人の方には、金額に応じて、八戸せんべい汁セットやいちご煮セット、サバ缶セット、南郷そば・つゆセットなどの特産品を進呈いたします。
- ◆ 総務大臣からの通知（平成29年4月1日付け総税市第28号）を踏まえ、平成29年7月から、八戸市内在住の方へのお礼の品の進呈を取りやめることとしております。

①10,000円以上 30,000円未満 …特産品Aから1品（①のうち、10,000円～15,000円は金額に応じて1品）

②30,000円以上 50,000円未満 …特産品A～Bから1品

③50,000円以上100,000円未満 …特産品A～Cから1品

④100,000円以上 ………………特産品A～Dから1品

詳しくは、八戸市ホームページ内「八戸市ふるさと寄附金について」をご覧ください。

お申込み方法

インターネット ⇒ふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/city/product/02203>) または
楽天ふるさと納税 (<https://www.rakuten.co.jp/f022039-hachinohe/>) からお申込みください。

郵送・ファックス ⇒「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市広報統計課へ送付してください。
「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市広報統計課までご連絡ください。
申込書は八戸市ホームページからもダウンロードできます。
※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

< 宛先 > 〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

TEL : 0178-43-2319 / FAX : 0178-47-1485 / Email : furusatotax@city.hachinohe.lg.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。

八戸市東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL : 03-3261-8973 / FAX : 03-3239-6723 / Email : tokyo@city.hachinohe.lg.jp

所長 松橋大輔 主幹 川村幸男 事務員 浜井章代